

第4期策定年月 令和3年 3月  
目標年度 令和7年度

# 青森市

## 果樹産地構造改革計画



青森県青森市  
青森市果樹産地協議会

# 目 次

◆合意体制	
I 構成	1
II 産地の範囲	1
III 対象農家	1
IV 進捗状況などの確認	1
◆目指すべき産地の姿	
1. 目指すべき産地の理念	2
2. 人材・園地戦略に関する事項	
ア 担い手の考え方	4
イ 担い手数の目標	5
ウ 担い手の育成・確保に向けた取組	6
エ 担い手への園地集積・集約化、円滑な経営継承に向けた取組	6
オ 雇用労働力の確保に向けた取組	7
3. 流通・販売戦略に関する事項	
ア 消費者・実需者のニーズに応じた果実を供給するための取組	8
イ 多様な販売ルートの確保や新たな市場の開拓に向けた取組	9
ウ 流通の合理化に向けた取組	9
4. 生産戦略に関する事項	
ア 生産を振興する品目・品種	10
イ 品目・品種別の生産目標、計画	10
ウ 労働生産性の向上に向けた取組	13
エ 生産資材の安定確保に向けた取組	15
オ 今後導入すべき新技術	15
カ 加工・業務用果実の安定生産に向けた取組	15
5. 輸出戦略に関する事項	
ア 輸出に関する基本的な考え方	16
イ 輸出促進に向けた取組	16
6. 自然災害等のリスクへの対応に関する事項	
ア 産地において特に対応すべきリスクとその対応方針	17
イ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく 収入保険や果樹共済といったセーフティネットへの 加入促進に関する方針	17

## ◆合意体制

### I 構成

- 合意形成を図るため、平成19年3月23日「青森市果樹産地協議会」を設置し、「青森市果樹産地構造改革計画」を策定し、その後、変更が生じた場合は、その都度計画の見直しを図りました。
- 青森市果樹産地協議会規約は別紙のとおりです。

### II 産地の範囲

- 青森市行政区域全域を産地の範囲とします。

### III 対象農家

- 産地内に居住する果樹生産農家全戸を対象とします。

### IV 進捗状況などの確認

- 取組開始から3年後となる、令和5年が終了した時点で、計画の進捗状況について事務局が中心となり確認し、その結果について当協議会に報告します。
- 5年後となる令和7年が終了した時点で、これまでの進捗状況を確認した上で、次期計画について検討を進めます。  
ただし、計画に大きな変更が生じた場合は、その都度計画の見直しを行います。



## ◆目指すべき産地の姿

### 1. 目指すべき産地の理念

#### 【青森市果樹産業の現状と課題】

本市の農業は、約28万人の消費者を抱える産地であるという利点を活かしながら、青森地区では水稲を主体としながら野菜・花卉を組み合わせた複合経営、浪岡地区では全国有数の生産量を誇るりんごを始め水稲などの生産活動を展開し、県内有数の農業生産を行っています。

浪岡地区においては、「土づくり」「化学肥料の低減」「化学農薬の低減」など、環境に配慮したりんご栽培に一体的に取り組んでいます。

また、青森地区を中心に、従来りんご観光園におうとうなどを組み合わせた、複合型・体験型果樹園の整備・活用が進んでいます。

さらに、平成27年12月に農林水産省の「地理的表示（GI）登録産品」の第1号に登録された「あおりカシス」については、生産者、加工業者、行政などが一体となって栽培面積の拡大や製品開発、販売促進が進められ、今では、国内生産量の約7割を本市が占めるなど、日本一のカシス産地となっています。

しかしながら、輸入果実との競争や国内の産地間競争の激化に伴う価格の低下、農業従事者の高齢化や後継者不足などの課題は、本市においても例外ではなく、栽培戸数・栽培面積の減少とともに、腐らん病や黒星病等の病害虫の要因となる放任園が散見されるなど、生産力が低下している園地も見られます。

## 『魅力的で競争力のある産地を目指して!』

当協議会では、本市果樹生産の基幹であるりんご生産の一層の高品質化に向け、構成員である青森農業協同組合や県農業普及振興室等の関係機関と連携し、基本技術の励行の徹底とともに、性フェロモン剤利用による農薬年間使用回数の軽減をはじめとする「土づくり」「化学肥料の低減」「化学農薬の低減」に、地域一体となり取り組むなど、環境に配慮した農業を推進し、安全・安心なりんご生産により、消費者に信頼される、競争力の高い産地を目指します。

併せて、販売面では、CA冷蔵庫・選果システムを活用し、年間を通じた高品質りんごの販売や消費者ニーズに応じた果実の生産・販売など、有利販売を推進できる環境づくりや、青森農業協同組合と連携し、輸出の拡大に努めます。

また、国内生産量の約7割を生産している「カシス」については、近年の健康食ブームにより、県内外の事業者からの引き合いが強まり、新規取引も増加している状況にあることから、多収品種・収穫しやすい品種の導入や省力栽培技術の普及などを検討しながら、生産量の拡大を図っていきます。

さらに、「自然とのふれあい」などの市民ニーズの高まりに加え、陸・海・空の交通結節点として、高い拠点機能を有する本市の特性を活かし、全国から多くの観光客が訪れることが期待されることから、りんごを主体としたおうとう・もも・ぶどう等を組み合わせた観光型・体験型果樹園の活用や、グリーンツーリズム等による人の呼び込みを促進します。

これらの実現に向け、今後の果樹生産の方向性としては、樹園地の再編、生産の省力化や低コスト化、品質の優れた品種の導入、選果の高度化等の推進を通じて、輸入品や他産地品に対し品質面で優位性を発揮できる果実の生産・流通体制を確立し、消費者需要に対応した果実の生産・流通の展開を図り、魅力的で競争力のある産地を目指します。

令和3年3月 青森市果樹産地協議会

## 2. 人材・園地戦略に関する事項

### ア 担い手の考え方

#### <りんご>

当産地における担い手の考え方は、「認定農業者」を主体に、高齢化による離農等の進行も踏まえ、一定面積以上の果樹栽培を行う60歳以下の農家又は後継者を有する農家及び新規就農者も将来の担い手として育成し、産地としての維持向上を図っていきます。

このことから、当産地における担い手としては、下記の要件のいずれかに該当する農業者とします。

- ① 認定農業者
- ② 果樹栽培面積が1.19ha(※)以上の農業者
- ③ 農業所得が主で、エコファーマーを取得している意欲ある農業者
- ④ 人・農地プランで中心経営体に位置づけられた農業者又は認定就農者
- ⑤ 果樹栽培面積が50a以上で60歳以下の農業者又は後継者のいる農業者
- ⑥ その他果樹産地協議会が適当であると認める農業者等

※りんご農家1戸当たりの果樹栽培平均面積(平成19年3月現在)

#### <特産果樹>

農業者の高齢化の進行や労働力不足により、生産基盤の脆弱化が懸念されていることから、既存団体の会員や認定農業者等をはじめとする、下記の要件のいずれかに該当する多様な担い手を育成することにより、産地としての維持向上を図っていきます。

#### 【カシス】

- ① あおもりカシスの会に入会している方で、年間出荷量が50kg以上の方
- ② カシスマイスターの認定を受けた方
- ③ 認定農業者
- ④ 果樹栽培面積が1.19ha以上の農業者
- ⑤ 農業所得が主で、エコファーマーを取得している意欲ある農業者
- ⑥ 人・農地プランで中心経営体に位置づけられた農業者又は認定就農者
- ⑦ 果樹栽培面積が30a以上で60歳以下の農業者又は後継者のいる農業者

## 【ぶどう、おうとう】

- ① 認定農業者
- ② 果樹栽培面積が1.19ha以上の農業者
- ③ 農業所得が主で、エコファーマーを取得している意欲ある農業者
- ④ 人・農地プランで中心経営体に位置づけられた農業者又は認定就農者
- ⑤ 果樹栽培面積が30a以上で60歳以下の農業者又は後継者のいる農業者
- ⑥ 青森市ぶどう協会又は青森市さくらんぼ生産組合に加入している農業者

## イ 担い手数の目標

### <りんご>

- 担い手農家戸数については、農業者の高齢化や労働力不足による離農等により、減少していくと推測されます。
- 認定農業者については、後継者や新規就農者を認定農業者に誘導することにより、現在の経営体数を維持することを目標とします。

### ■担い手数の目標

	R2 (現状)	R5 (目標)	R7 (目標)
担い手農家戸数	768 戸	738 戸	718 戸
うち認定農業者	164 戸	164 戸	164 戸

### <特産果樹>

#### 【カシス】

- G I登録により「あおもりカシス」ブランドの認知度が高まってきていることから、生産者の育成等により担い手農家戸数を増やし、認定農業者に誘導していくことを目標とします。

	R2 (現状)	R5 (目標)	R7 (目標)
担い手農家戸数	46 戸	55 戸	61 戸
うち認定農業者	0 戸	0 戸	1 戸

## 【ぶどう、おうとう】

- 後継者の育成等により、現在の担い手農家戸数を維持するとともに、認定農業者に誘導していくことを目標とします。

	R2（現状）	R5（目標）	R7（目標）
担い手農家戸数	5 戸	5 戸	5 戸
うち認定農業者	1 戸	1 戸	2 戸

※担い手農家戸数：りんご担い手としてリストアップされた生産者を除く

## ウ 担い手の育成・確保に向けた取組

- 本市の「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に基づき、経営感覚に優れた効率的・安定的な経営体を認定農業者として認定するため、認定農業者制度の周知・普及に努めるとともに、農業経営改善計画達成のための相談体制の充実に努めます。
- 新規就農希望者に対しては、就農サポートセンターや市が主催する各種栽培技術講習会等の活用による、就農前研修の実施に努めるとともに、その他、就農準備に必要な資金の支援、就農に対する相談機能の充実・強化などにより、定着化に向けた支援に努めます。
- 果樹生産団体等や地域の生産者と連携しながら、段階的に整枝・せん定等の高度な栽培管理技術を習得できる仕組みを構築するなど、新規就農者をバックアップする体制づくりに努めます。
- 青森農業協同組合営農指導員が主体となり実施する各種講習会について、県・共済組合・市等関係機関が連携するなどし、より一層の生産指導の充実に努めます。
- 青森農業協同組合が設立した「JA青森浪岡地区新規就農受入協議会」と連携し、りんご栽培を目指す新規就農希望者の研修生としての受入や実園地での農業研修・交流活動を実施するなど、りんご後継者の育成を支援します。

## エ 担い手への園地集積・集約化、円滑な経営継承に向けた取組

- 当産地には、傾斜度10度以上の急傾斜地にあるりんご園が約17ha存在しており、その約10%にあたる1.7haが廃園するものと見込まれています。このため、作業がしやすい傾斜度10度未満の農地の適正な維持に努めるとともに、急傾斜地のりんご園については、地形改良や平場への移行を促すなどし、作業の効率化の確保に努めます。



- 放任状態の果樹園地は病虫害の発生等周囲の園地に悪影響を及ぼすことから、当該所有者と管理方法等について協議し、適正管理を促すとともに、当該所有者に栽培継続の意思が明らかでない場合は、農地中間管理機構と連携し、新規就農希望者を含む新たな担い手への継承や、場合によっては廃園等の手続きを促します。
- 当協議会の産地内においては、青森市が人・農地プランを作成し、実質化されていることから、当該プランに基づいて将来の農地利用を担う経営体の明確化に取り組めます。
- 意欲ある担い手への樹体を含めた園地と経営の継承をセットで促進するため、農地中間管理機構や農業委員会等との連携手続きに係る、相談体制の強化に努めます。
- 青森農業協同組合が設立した「JA青森浪岡地区新規就農受入協議会」が行う新規就農希望者への農業研修や実園地での研修・交流等の実施を支援し、経営資源や栽培技術を継承したい同協議会会員からの直接かつスムーズな経営移譲を支援します。

#### ■維持する園地、廃園する園地の明確化

	R2 (現状)	R5 (目標)	R7 (目標)
傾斜度 10 度未満の園地	1,680.6 ha	1,670.4 ha	1,663.8 ha
傾斜度 10 度以上の園地	17.0 ha	16.7 ha	16.4 ha
うち廃園する園地	0.0 ha	0.9 ha	1.7 ha
(参考) 栽培面積	1,698.0 ha	1,689.0 ha	1,681.0 ha

#### ■担い手への園地集積

	R2 (現状)	R5 (目標)	R7 (目標)
担い手への集積面積	1.51 ha	10.18 ha	10.18 ha
規模拡大農家戸数	2 戸	13 戸	13 戸

### オ 雇用労働力の確保に向けた取組

- 青森農業協同組合等が実施する無料職業紹介事業と連携し、果樹園地で働きたい人と雇用労働力が欲しい生産者とのマッチングに積極的に取り組むなど、果樹園地における担い手及び補助労働力の確保に努めます。

### 3. 流通販売戦略に関する事項

#### ア 消費者・実需者のニーズに応じた果実を供給するための取組

- ①消費者・実需者需要に即した果樹品種の選定・生産や出荷形態等に応えるため、商談会や展示会・見本市等の場を活用し、加工業者・外食業者等の実需者や消費者のニーズの的確な把握に努めます。
- ②青森市ならではの特色のある、こだわりの生産手法の導入可能性とともに、品質を重視した出荷基準の導入の検討を進めるなど、競争力のある産地づくりを推進します。
- ③品質が均一化された鮮度の高いりんごの安定的な供給と、消費者の多様なニーズに対応した計画的出荷を進めるため、青森市りんごセンターのCA冷蔵庫や選果機等を活用し、糖度や蜜入りを保証したりんご販売など、付加価値の高い流通・販売対策を強化します。



#### ■青森市りんごセンター施設概要（平成22年2月から供用開始）

CA冷蔵庫：15,000箱（20kg入/箱）×10室

自動ラックCA冷蔵庫：25,000箱（20kg入/箱）×2室

選果機：バケット式選果機3条ライン（内部品質カラーセンサー）



## イ 多様な販売ルートの確保や新たな市場の確保に向けた取組

### ① 食品産業を始めとする異業種との連携

- ・地産地消の強化とともに、子どもたちの果実に親しむ食習慣づくりを推進するため、教育委員会などと連携し、学校給食での市内産の果実や加工品等の活用を進めます。
- ・手軽さや気軽さ、コンビニエンスストアの台頭などの一方で、依然としてニーズが高いブランド志向・高級志向など、複雑化・多様化する消費ニーズや流通形態を踏まえた新たな市場の確保に努めます。

### ② 国産果実ならではの果実加工品の開発等

- ・安全・安心で、かつ高品質な国産果実の強みを活かした果実加工品の開発を支援するとともに、商談会や見本市等を活用した魅力の発信に取り組むなど、加工用品果実及び加工品の販路拡大に取り組みます。
- ・地域資源を活かした新商品の開発や機器・設備の導入、研修会・商談会への参加など、生産者の6次産業化に向けた初期段階の取り組みを支援し、6次産業化に取り組む生産者の拡大を図ります。
- ・果実本来が有する健康効果や機能とともに、一次加工品及び加工残渣の成分分析などの研究を大学と連携し、健康志向に配慮した高付加価値な商品開発の可能性を検討します。

### ③ 消費者との交流推進

- ・産直市等での生産者による直接販売や農家レストラン、複数品目の果樹を活用した体験型観光果樹園の運営、農作業体験等のグリーンツーリズム等を通じ、消費者との交流を促進し、魅力ある産地を目指します。

### ④消費拡大に向けた取組

- ・消費者の食に対する理解の促進と地産地消の機運向上及び消費拡大を図るため、食に関する出前授業や農作業体験の体制づくりを推進し、消費拡大につなげます。

## ウ 流通の合理化に向けた取組

- 集出荷の能力強化に向け、関係機関・団体と連携し、既存の集出荷体制や出荷規格の見直しや集出荷施設の再編統合、新たな輸送方式について検討を行います。
- 軽量ダンボールによる輸送試験など、環境保護に配慮した流通システムのあり方等について研究します。

## 4. 生産戦略に関する事項

### ア 生産を振興する品目・品種

別紙「振興品種一覧」のとおり

### イ 品目・品種別の生産目標、計画

#### <りんご>

- 現状の生産量を維持するために樹木の若返りを進め、反収の向上に努めます。
  - 気象災害の回避とともに、市場評価性や品質の均一化・貯蔵性等に配慮し、単一品種に偏らない品種導入を誘導します。
- また、主要品種である「ふじ」「王林」「つがる」「ジョナゴールド」は、より一層の有利販売を進めるためにも優良系統への改植を推進します。

(例)

- ・高温化でも着色しやすい「恋空」の導入促進（極早生種）
- ・市場評価の高い「トキ」「シナノスイート」の導入促進（中生種）
- ・貯蔵性の高い「シナノゴールド」の導入及び有袋ふじの生産維持（晩生種）  
など

## ■品種別の生産目標

品種	R2 (現状)		
	栽培面積 (ha)	割合 (%)	生産量 (t)
極早生・早生種	243.4	14.3	4,521
つがる	232.9	13.7	4,332
きおう	3.1	0.2	63
その他	7.4	0.4	126
中生種	265.0	15.6	4,932
ジョナゴールド	127.1	7.4	2,339
早生ふじ	85.3	5.0	1,581
トキ	8.7	0.5	158
シナノスイート	3.0	0.2	63
陸奥	4.3	0.3	95
その他	36.6	2.2	696
晩生種	1,189.6	70.1	22,163
ふじ	1,007.7	59.3	18,749
王林	173.0	10.2	3,225
シナノゴールド	2.7	0.2	63
その他	6.2	0.4	126
合計	1,698.0	100.0	31,616

品種	R5 (目標)			R7 (目標)		
	栽培面積 (ha)	割合 (%)	生産量 (t)	栽培面積 (ha)	割合 (%)	生産量 (t)
極早生・早生種	242.3	14.3	4,726	241.0	14.3	4,714
つがる	232.1	13.7	4,528	231.0	13.7	4,516
きおう	2.9	0.2	66	2.7	0.2	66
その他	7.3	0.4	132	7.3	0.4	132
中生種	273.8	16.2	5,354	279.2	16.6	5,472
ジョナゴールド	126.6	7.6	2,512	125.8	7.4	2,439
早生ふじ	85.1	5.0	1,653	85.0	5.1	1,681
トキ	9.1	0.5	165	9.3	0.6	198
シナノスイート	3.1	0.2	66	3.1	0.2	66
陸奥	4.2	0.2	66	4.2	0.2	66
その他	45.7	2.7	892	51.8	3.1	1,022
晩生種	1,172.9	69.5	22,971	1,160.8	69.1	22,777
ふじ	991.8	58.7	19,402	980.2	58.3	19,217
王林	171.8	10.2	3,371	171.0	10.2	3,362
シナノゴールド	3.1	0.2	66	3.4	0.2	66
その他	6.2	0.4	132	6.2	0.4	132
合計	1,689.0	100.0	33,051	1,681.0	100.0	32,963

## <特産果樹>

### 【カシス】

生産・集荷体制を整備し、日本一のカシス生産地としての地位を維持できるよう、生産量の拡大を図ります。



#### ■栽培面積

	R2 (現状)	R5 (目標)	R7 (目標)
栽培面積	814 a	877 a	923 a

### 【ぶどう】

品種構成については、「スチューベン」を中心としながら、近年、消費者に好まれている「シャインマスカット」などの大粒系品種の普及拡大を図ります。



#### ■栽培面積及び品種割合

	R2 (現状)		R5 (目標)		R7 (目標)	
	栽培面積	品種割合	栽培面積	品種割合	栽培面積	品種割合
スチューベン	13.6ha	65.1%	13.6ha	65.1%	13.6ha	65.1%
シャインマスカット	1.3ha	6.2%	1.4ha	6.7%	1.5ha	7.2%
その他	6.0ha	28.7%	5.9ha	28.2%	5.8ha	27.7%
計	20.9ha	100.0%	20.9ha	100.0%	20.9ha	100.0%

### 【おうとう】

品種構成については、「佐藤錦」「紅秀峰」を中心としながら、青森県オリジナル品種である、大玉で食味も優れている「ジュノハート」の普及拡大を図ります。



## ■栽培面積及び品種割合

	R2（現状）		R5（目標）		R7（目標）	
	栽培面積	品種割合	栽培面積	品種割合	栽培面積	品種割合
佐藤錦	3.6ha	58.1%	3.6ha	58.1%	3.6ha	58.1%
紅秀峰	0.7ha	11.3%	0.7ha	11.3%	0.7ha	11.3%
ジュノハート	0.1ha	1.6%	0.2ha	3.2%	0.3ha	4.8%
その他	1.8ha	29.0%	1.7ha	27.4%	1.6ha	25.8%
計	6.2ha	100.0%	6.2ha	100.0%	6.2ha	100.0%

## ウ 労働生産性の向上に向けた取組

- 省力化及び作業の効率化が図られる、わい化栽培の導入支援に引き続き取り組むとともに、特に早期多収が期待できるりんごの新わい化栽培や高密度栽培（トールスピンドル方式）といった省力樹形について、関係機関と連携し栽培講習会等を開催するなど、導入面積の拡大等を図ります。
- 生産性の向上に向けて農道・園内道の整備や園地の傾斜緩和、土壌土層改良、ぶどうのハウス施設の整備、おうとうの雨よけハウスの整備等の基盤整備を促進します。
- 水源の確保が困難な場所にあつては、用水・かん水施設等の整備を促進します。
- 台風や霜などの災害に強い園地づくりを進めるため、防風網や防霜ファン等の整備を促進します。
- 平坦で作業性の良い水田の樹園地への転換促進や、スマート農業技術を取り入れた機械作業体系の導入を支援するなどし、大規模な果樹産地の形成を促進します。
- 果樹生産者への定期的目揃会の開催や、栽培指導・講習会の開催により、本市果樹の品質及び生産量の安定化を図ります。

## ■わい化栽培面積目標

	R2（現状）	R5（目標）	R7（目標）
わい化栽培面積	217.0 ha	219.6 ha	223.7 ha
わい化率	12.8 %	13.0 %	13.3 %
（参考）全体栽培面積	1,698.0 ha	1,689.0 ha	1,681.0 ha

### ■防風網整備（受益）面積

	R2（現状）	R5（目標）	R7（目標）
整備面積	131.8 ha	132.4 ha	132.8 ha
整備率	7.8 %	7.8 %	7.9 %
（参考）全体栽培面積	1,698.0 ha	1,689.0 ha	1,681.0 ha

### ■防霜ファン整備（受益）面積

区分	R2（現状）	R5（目標）	R7（目標）
整備面積	12.3 ha	13.2 ha	13.6 ha
整備率	0.7 %	0.8 %	0.8 %
（参考）全体栽培面積	1,698.0 ha	1,689.0 ha	1,681.0 ha

### ■ぶどうハウス等施設整備面積

R2（現状）			R5（目標）			R7（目標）		
栽培面積	整備面積	整備率	栽培面積	整備面積	整備率	栽培面積	整備面積	整備率
20.9ha	5.0ha	23.9%	20.9ha	5.0ha	23.9%	20.9ha	5.1ha	24.4%

### ■おうとう雨よけハウス整備面積

R2（現状）			R5（目標）			R7（目標）		
栽培面積	整備面積	整備率	栽培面積	整備面積	整備率	栽培面積	整備面積	整備率
6.2ha	2.0ha	32.3%	6.2ha	2.0ha	32.3%	6.2ha	2.1ha	33.9%

### ■りんご高密度植栽培の様子（定植3年目：浪岡地区にて撮影）





## エ 生産資材の安定確保に向けた取組

- 省力樹形導入推進のため、地域内種苗販売業者や農協等の資材販売業者と連携しながら、台木や苗木、花粉等の資材の生産・供給体制の強化に取り組みます。
- 国産花粉の安定生産に向け、花粉採取専用樹の導入を促進します。

## オ 今後導入すべき新技術

- 果樹品質の均一化・向上に向け、IoT カメラや土壌水分センサー等のスマート農業技術機械・機器の導入を促進します。

## カ 加工・業務用果実の安定生産に向けた取組

- 加工品種として適性の高い「紅玉」の生産量を維持しつつ、「紅の夢」や業務用りんごとして期待されている「千雪」の普及拡大を図ります。(りんご)
- 高密度栽培等の省力化栽培技術や低コスト化技術の導入を促進するなど、加工・業務用果実の安定生産に努めます。
- 加工・業務用果実の生産者と加工業者等の実需者をマッチングすることにより、契約取引を促進します。

### ■加工用品種別の生産目標（りんご）

品種	R2（現状）		
	栽培面積（ha）	割合（％）	生産量（t）
紅玉	9.7	0.6	205
千雪	0.1	0.0	2
紅の夢	0.0	0.0	0
合計	9.8	0.6	207

品種	R5（目標）			R7（目標）		
	栽培面積（ha）	割合（％）	生産量（t）	栽培面積（ha）	割合（％）	生産量（t）
紅玉	9.7	0.6	198	9.8	0.6	198
千雪	0.1	0.0	2	0.2	0.0	4
紅の夢	0.0	0.0	0	0.1	0.0	2
合計	9.8	0.6	200	10.1	0.6	204

## 5. 輸出戦略に関する事項

### ア 輸出に関する基本的な考え方

- 当該産地内では青森農業協同組合がりんごの輸出を主体的に行っており、今後も青森農業協同組合を通じた海外への輸出を促進します。

### イ 輸出促進に向けた取組

- これまで青森農業協同組合と市が連携して行っている台湾などへのトップセールスを継続するとともに、輸出先のニーズに対応した高品質なりんご生産により輸出量の拡大を図ります。
- 安全・安心なりんごを供給するため、「土づくり」「化学肥料の低減」「化学農薬の低減」を一体的に取り組むなど、環境に配慮した農業を推進します。
- 安全・安心で環境に配慮した果実を収穫・出荷するため、浪岡地区りんご共同防除組合連絡協議会が主体となり実施しているりんご腐らん病一斉点検等、病害虫の発生防止の強化に引き続き取り組むとともに、生産履歴の記帳や他作物からの農薬の飛散防止に努めます。
- GAPの普及により、安全・安心な果実生産への意識向上を図ります。
- 高品質りんごの生産と、市場価格の安定が図られる収穫量を確保するため、適正着果の確実な実施に努めます。

## **6. 自然災害等のリスクへの対応に関する事項**

### **ア 産地において特に対応すべきリスクとその対応方針**

- 当該産地では、りんごの腐らん病や黒星病等の病害虫に関するリスクが特に高いと考えており、それらの主な発生原因である果樹放任園について、園地所有者と協議しながら解消に努めます。

### **イ 農業保険法に基づく収入保険や果樹共済といったセーフティネットへの加入促進に関する方針**

- 生産者の経営安定を図るため、自然災害や鳥獣害・病害虫被害等のリスクに備えた収入保険や果樹共済への加入を推進します。



# 青森市果樹産地協議会事務局

青森県青森市浪岡大字浪岡字稲村 101-1

青森市農林水産部あおもり産品支援課いんご支援チーム内

TEL 0172-62-3002

FAX 0172-62-8125

## 別紙

### (1) 振興品種一覧

改植、条件付新植用

#### <りんご>

区分	早生品種	中生品種	晩生品種
品種名	つがる(※①)	早生ふじ(※②)	ふじ(※③)
	しおりの詩	ジョナゴールド	王林(※④)
	恋空	紅玉	春明21
	きおう	トキ	おいらせ
	シナノレッド	千雪	ぐんま名月
	みよしレッド	シナノスイート	こうこう
	ファーストレディ	もりのかがやき	シナノゴールド
	スイートメロディ	秋陽	星の金貨
	彩香	紅の夢	金星
	メルシー		美丘
			あいかの香り
			はるか
			青林
			大紅栄

※①:「つがる」には、「平賀つがる」「つがる姫」「みすずつがる」が含まれる。

※②:「早生ふじ」には、「ひろさきふじ」「ほのか」「涼香の季節」「こうりん」が含まれる。

※③:「ふじ」には、「みしまふじ」「宮美ふじ」「こまちふじ」「チャンピオンふじ」「コスモふじ」「みたかふじ」「協会選抜ふじ」「紅虎」「うまじろう」が含まれる。

※④:「王林」には、「王林」「大玉王林」が含まれる。

#### <カシス>

区分	品種		
品種名	青森在来	ボスクープジャイアント	ウエリントン

#### <ぶどう>

区分	品種		
品種名	シャインマスカット	ピオーネ	コトピー
	ヒムロッド	巨峰	雄宝
	クイーンニーナ	キャンベル・アーリー	スチューベン

<おうとう>

区分	品種		
品種名	佐藤錦	紅秀峰	紅てまり
	ジュノハート	紅さやか	南陽